

地域教育情報紙

山梨県教育委員会
中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013



中北.com

チウホクトコム

中北の地域社会 (COM munity)の心の交流 (COM munication)をめざします



ONE TEAM (ワンチーム)

中北教育事務所

副所長 柴 茂生

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。また、日頃より中北教育事務所、地域教育関連事業に御理解と御協力をいただきますことに、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、5月の新しい時代「令和」の幕開けとともに、日本全国が新たな時代の始まりにわきました。新元号には「素晴らしい歴史や文化を持つ日本で、人々が美しい心を寄せ合う中で、文化が生まれ育ち、明日への希望とともに、次世代を生きる子どもたちが、大きな花を咲かせることができる。」という思いが込められているということです。

令和2年は、学校現場では新学習指導要領が小学校における全面実施が行われます。中学校では移行期間最終年度となり教科書採択も行われます。さらに、教職員の多忙化とそれに対する負のイメージから、教員志望に二の足を踏む学生が出てきているという状況もあり、教職員の働き方改革・教員の確保も大きな課題となっております。

これらの変化や課題を学校・保護者・地域が連携し、「令和」に込められた思いを感じながら子どもたちの笑顔のために、ともに頑張っていきたいと思えます。また、本県においても昨年6月に「山梨県教育大綱（山梨県教育振興基本計画）」を策定し、「学び続け 共に生き 未来を拓く やまなしの人づくり」を基本理念に掲げ、「創造・自立・協働」による子どもたちの学びを推進していくなど、新たな歩みを始めています。

昨年の流行語大賞の「ONE TEAM (ワンチーム)」は、日本全国に浸透しました。試合に出た選手はもちろん、スタッフ、代表に漏れた選手が一丸となって臨む姿勢が多く感動を与えてくれました。教育現場でも以前から、校長のリーダーシップの下、教職員がそれぞれの専門性を活かし、学校組織が一丸となって子どもたちに必要な知識・能力を確実に身につけさせる「チーム学校」の実現が求められています。この「チーム学校」を核に、家庭・地域・行政が一体となってそれぞれの学校の子どもたちを育てていく、そうした「ONE TEAM (ワンチーム)」になればと考えています。

中北教育事務所におきましても、常に教育現場や地域の実態・状況に目を配り、耳を傾ける中で、よりバランスの取れた教育が推進されるよう配慮していきたいと考えております。

年頭にあたり、皆様にとって希望に満ちた素晴らしい一年になりますよう御祈念申し上げます。

中北.com no.5 コンテンツ

p1 中北教育事務所 副所長あいさつ

p2 韮崎ライフカレッジ, 韮崎市清哲公民館・韮崎西中

p3 しらゆり幼稚園, 韮崎北東小学校

p4 社会教育の会, ことぶき勸学院学生徒募集

俳人 夏井いつきさん「句会ライブ」 ～蕪崎市 武田の里ライフカレッジ～

蕪崎市が「生涯学習宣言都市」宣言を行ったのは、昭和56年。それから30年以上にわたり、市民一人ひとりがその興味・関心に応じ生涯をかけて学び続ける意欲を高める活動が続けられています。そしてその地域における豊かな学びの機会の一環として蕪崎市が実施しているのが、生涯学習講座「武田の里 ライフカレッジ」です。毎月、スポーツジャーナリストや俳優など多彩な講師を招いて行われていますが、今回の講師はTBSのTV番組「プレバト！」に出演中の俳人 夏井いつき先生。先生による「句会ライブ」を楽しみに、



900人もの参加者が12月19日（木）、東京エレクトロン蕪崎文化ホールに集まりました。ご自身のことを「俳句の種を蒔く人」とおっしゃる夏井先生。日本中をまわって、小学生から高校生まで俳句に興味のある子どもを育てること、そして俳句を使って、子ども達の言葉を育て、心を育てるという活動を30年近くも行っているといいます。今回の句会ライブで、夏井先生はまず俳句の約束事や簡単に作れる技を教え、「俳句は難しいものだ」という印象を和らげていきました。先生から俳句の作り方を学んだ参加者は、さっそく一句を作って提出、夏井先生が入賞7句を選んでいきました。選ばれた句は会場全体で鑑賞。参加した皆さんは、五・七・五の短い表現の中に、非常に多くの感情を込められることを実感しました。市民のリクエストにより、蕪崎市がオファーしたところ、はるばる山梨まで来てくれたという夏井先生。見たもの、聞いたもの、また感じたことを言葉で表現することの楽しみや、時に作者の意図を離れ、自由に鑑賞される俳句の魅力が大いに学んだ句会ライブとなりました。

地域の絆を強める美しいハーモニー

蕪崎市清哲公民館 X 蕪崎西中学校

10月27日（日）、蕪崎市の清哲公民館において同公民館主催の秋桜コンサートが開かれ、地元の中学校である蕪崎西中学校吹奏楽部の生徒たちが、地域の方々に演奏を披露しました。「家庭・学校・地域の連携」を公民館のテーマとする蕪崎市。清哲公民館もその重点目標に、青少年の健全育成、異世代間のふれあい交流、各種団体との連携・支援を掲げ、年間を通じていきいきサマースクールや町の文化・歴史を学ぶ学習会など、様々な事業を行っています。そんな清哲公民館の秋桜コンサートで、山梨県吹奏楽コンクールで2年連続金賞を受賞、昨年度は県代表として西関東吹奏楽コンクールにも出場する実力を持つ蕪崎西中学校が演奏するようになったのは今から5年前。それ以来、学校への登下校中などに挨拶を交わす子ども達の素晴らしい演奏を、地域の方々は毎年楽しみにしているといいます。

一方、蕪崎西中吹奏楽部の生徒たちも、地域の皆さんに喜んでもらえる演奏をと、これまで行ってきた準備に加え、当日も朝からリハーサルを重ねてコンサートに臨みました。コンサートでは全日本吹奏楽コンクールの課題曲である「マーチ・シャイニング・ロード」から、「サザエさんアラカルト」といった親しみやすい曲まで、バリエーションに富んだ曲が演奏されるとともに、曲の合間にはそれぞれの曲のエピソードの説明や、各パートのスタンドプレーなどの演出も。これまでの練習で培われた美しいハーモニーに加え、観客を楽しませる楽しい工夫に富んだ、そして中学生と地域の方々との交流が深まったコンサートとなりました。



学びの基礎力の育成 ～ 保育園（所）・幼稚園・小学校での学び～

現在、幼児教育や保育への関心が高まっています。それは幼児期の学びが、その後の子どもの発達に大きな影響を与えるということが、OECD（経済協力開発機構）の幼児教育・保育政策に関する調査によって報告されたからです。一方、遊びを通じて学ぶ幼稚園・保育所での活動から、時間割が決められ、教科活動を中心とする小学校での学びへの移行がスムーズに行われないと「小1プロブレム」という問題が起きることも。そこで今回は、豊かな体験活動を通じて、健康な心身と好奇心を育てる幼稚園での取り組みと、幼児期の学びから小学校で学習へと、円滑な接続を図る小学校での活動をご紹介します。

「食べることは「生きること」 しらゆり幼稚園



11月15日（金）、甲府市大手にあるしらゆり幼稚園において、山梨県産の野菜やお肉を使った親子カレー作り授業が行われました。指導してくださったのは、「食の知恵袋」という食育のプログラムで、子どもの健やかな成長を支援する作品や活動に送られるキッズデザイン賞を受賞した料理家の奥秋曜子さん。今回は水を使わず、野菜から出る水分だけで栄養が凝縮されたカレー作りに親子で挑戦しました。まず子ども達は、山梨県で生産される野菜にはどのようなものがあるのかを知り、食卓に届くさまざまな食べ物の生産、加工、流通の過程に対する理解を深めていきました。その後、調理にとりかかり、ブロッコリーやパプリカを手でちぎってみることで、「野菜ってこんなに硬いんだ～」と感じたり、「水を使わないのに、鍋に野菜を入れて煮

始めると水分が出てくるのはなぜだろう」と考えたり。食材とのふれあいや調理といった体験から、子どもたちの中に好奇心や探究心がどんどん湧き上がってくる様子うかがえました。一方、普段忙しく、なかなか親子で調理をする時間を持ってないという保護者の皆さんからも、親子で話をしながら調理をするという今回の体験を通じ、子どもの成長にじっくり向き合う機会を持つことができたとともに、幼児期という心身の健康にとって最も大事な時期の食事の大切さを再認識することができた、という感想が聞かれるなど、子ども・保護者双方にとって、生きる力の基本となる「食」への関心が大いに高まった体験となりました。



保・幼・小交流会 韮崎市立韮崎北東小学校



「これから、はじめの会を始めます」。よく響く大きな声で開会を宣言したのは、韮崎市立北東小学校の1年生。同級生や先生方が見守る中、市内の幼稚園や保育園から同小学校を訪れた130名を超える年長児の前で堂々と挨拶をしました。11月12日（火）、同小学校で、来年度小学校へ入学する近隣の保育園、幼稚園の年長児を招き、小学校1年生と交流する保・幼・小交流会が行われました。6年前から行われているこの交流会では、小学校で行われる朝の会、各教科の学習、給食、清掃など、小学校での一日を年長児とその指導者に知ってもらうことで、小学校入学への期待を高めるとともに、互いの学びの特徴を理解し、保育所や幼稚園での生活から、小学校での生活へとスムーズに移行できるようにすること、

一方、小学1年生にとっては、年長児に分かるように伝え方を工夫し、楽しんでもらえる関わり方を考える機会とすることを目的としています。この交流会のために2週間前から準備してきたという1年生。交流会終了後、「緊張した～」と言いながらも、交流会をやってもらう立場から、主催する側となったお兄さん、お姉さんの顔をのぞかせました。一方、年長児からは「小学校に行くのが楽しみ」「そうじをやってみたい」などの声が聞かれ、幼稚園・保育園と小学校間に新しい連携が生まれた交流会となりました。



新しい年も良い年に～しめ縄飾り作り 社会教育の会



12月15日(日)に甲府市立中道北小学校において、「親子しめ縄教室」が開かれました。これは、峡中地区社会教育の会の事業の一環として毎年行われているものです。講師の東條文武先生のご指導の下、社会教育の会の会員や中道北小の廣瀬校長先生、野澤教頭先生の御協力をいただきながら楽しく作業していました。どの親子もとてもいい作業を行い、驚くほど上手にすてきなしめ縄飾りを作ることができました。親子の触れ合いを深める良い時間だったと思います。すてきなしめ縄飾りで、みなさんよい年を迎えられたことでしょう。



令和2年度山梨ことぶき勸学院学生募集

「學びて時に之を習ふ、亦説ばしからずや」と孔子は述べ、学び続けることの大切さを説いています。山梨県では、年齢を重ねても学び続けたいというニーズに合わせて、「山梨ことぶき勸学院」という学びの場が提供されており、令和2年度も以下の要領で学生を募集します。「山梨ことぶき勸学院」では、健康や経済、歴史などさまざまな分野の講座を受講できるほか、新しい友と日常の学びの成果を発表したり、若い世代と交流したりする機会も用意され、高齢者の新たな生きがいづくりの場となっています。

○入学案内・募集要項配布：令和2年1月下旬から

(各市町村の教育委員会や教育事務所などで配布予定)

○出願期間：令和2年2月3日(月)から(定員になり次第締め切り)

○修業年限：2年(1年間で25講座実施)

○講座日：原則として金曜日(月平均2日)

○費用：入学後に基本学習費として16,000円を納入

お問い合わせ先：山梨ことぶき勸学院 電話 055-233-6947



講座内のグループワーク



勸学院祭

第2回地域教育推進連絡協議会のお知らせ ～ぜひご参加ください～

日時 令和2年1月30日(木) 場所 北巨摩合同庁舎 1F 101会議室

研修会(講演会)「共に輝き続けるために～脳と心の育て方～」(仮題)

講師 山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 坂本 玲子 教授



令和元年度 『中北.com』 No.5
編集・発行 中北教育事務所 地域教育支援
担当：深澤 隆二・雨宮 靖子

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4
電話 0551-23-3046
FAX 0551-23-3013